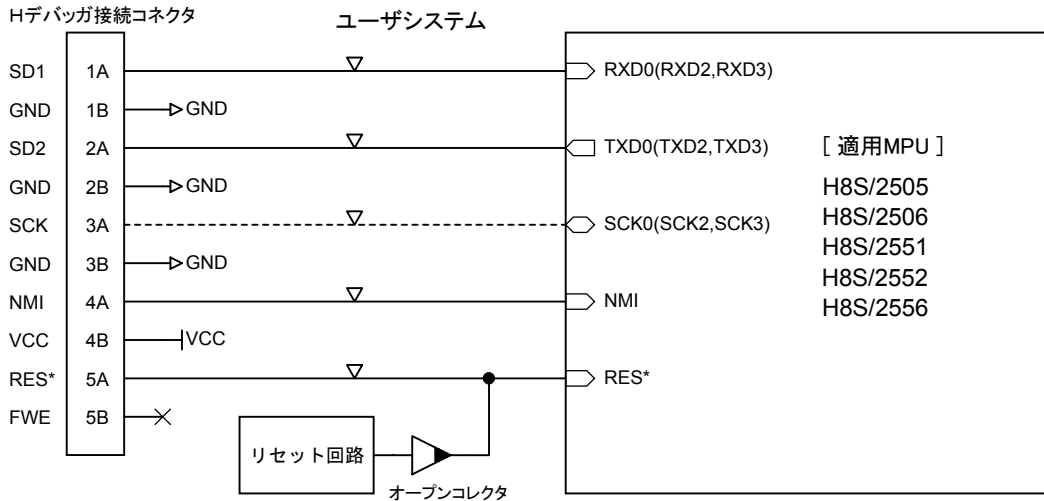


【 接続例 17 】 H8S/2505,2506,2551,2552,2556の場合 (H8S/2500シリーズ)



- ▽印はプルアップ抵抗です。抵抗値は4.7K~22Kの範囲を推奨します。
- FWE信号は使用しません。(どこにも接続せず開放にしてください)
- RXD0, TXD0, SCK0はモニタ組込後であればCPU設定によりSCI2又はSCI3のシリアル信号に変更して使用できます。(H8S/2506の場合のみ変更可能です。)
- リセット回路の遅延時間は、200mSEC以下になる様ハード設計をして下さい。
- CPU動作モード(ブート・実動作)設定回路は、ユーザ(ターゲット)側で用意して下さい。
- CPU設定でターゲットI/Fを調歩同期/クロック同期の選択ができます。
調歩同期側に選択した場合は、SCK0を開放にしてください。